

平成 30 年度

事 業 報 告

一般財団法人札幌市交通事業振興公社

目 次

平成 30 年度一般財団法人札幌市交通事業振興公社事業報告

実施事業等会計に関する事業	1 ページ
その他会計に関する事業	5 ページ
法人の管理運営に関する業務	11 ページ
庶務事項	12 ページ
付属明細書	14 ページ

平成30年度 事業報告

【実施事業等会計】

公益目的支出計画に基づき、公共の福祉の増進に資することを目的として実施する事業に関する会計

1 交通問題に対する市民の意識の啓発及び交通道德等の普及啓蒙に関する事業

(3,287,001円 : 事業費2,436,820円、管理費配賦額850,181円)

市営交通事業への理解と更なる利用を促すとともに、交通問題に対する市民の意識の啓発を図るため、市民参加型の各種イベントを実施した。また、交通道德等の普及啓蒙を図るため、乗客マナーポスターの掲出等を行った。

(1) 「市電フェスティバル」の開催 (794,355円)

市電への愛着を深めていただき、更なる利用促進を図るため、札幌市交通局と共催し、電車事業所構内及び隣接グラウンドを会場に市電車両を活用したイベントを実施した。また、市営交通のPRとイベントの集客を図るため、イベント限定グッズを会場において販売した。

開催日時	平成30年9月1日(土)10時00分～16時00分
来場者数	約10,000名
イベント内容	車両工場見学、市電と綱引き、車両洗車体験及び運転台体験などの他、イベントグッズの販売、制服写真撮影コーナー及び当公社職員によるマナー教室を実施した。

(2) 「市営交通子ども絵画展」の開催 (1,010,574円)

市営交通の愛着を深めていただくとともに、更なるイメージアップを図るため、小学生以下の子どもを対象に市営交通全般をテーマとした絵画を募集した。

応募作品は、東豊線さっぽろ駅コンコース、地下街オーロラタウン(オーロラスクエア)に展示し、このうち優秀作品については、当公社業務掲示板へ掲出するとともに、オーロラプラザで表彰式を行い、当該応募者へ記念品を贈呈した。

また、全ての応募者に、作品返却時に参加賞を贈呈した。

表彰式	平成30年9月22日(土)11:00～11:30
作品展示期間	平成30年9月22日(土)～平成30年11月29日(木)
応募総数	821点(うち優秀作品22点)

(3) マナー啓発に関する事業[マナーポスターの公募及び作成事業] (433,277 円)

乗車マナーに関する意識を高め、市営交通をより快適に利用していただくとともに、市営交通の安全・正確・快適な運行の一助となるよう、乗車マナーの浸透・醸成を図った。

平成 30 年度は、お客様からマナーに関する苦情要望で寄せられた意見の中から、「リュック等荷物の持ち方」、「エスカレーターでの手すり使用の徹底」及び「ながら歩きの禁止」の上位 3 点をテーマで作品を一般募集し、マナーポスターを掲出した。

応募作品数	115 点 (うち最優秀賞 2 点をマナーポスターとして掲出)
作成枚数	1,380 枚 (地下鉄車内用 880 枚、市電車内用 70 枚、地下鉄駅他 430 枚)
掲出場所	地下鉄車内、市電車内、地下鉄駅構内及び市営交通関連施設

(4) 「子ども市営交通教室」の開催 (179,544 円)

市営交通に愛着と親近感を感じてもらう場を提供し、交通マナーの醸成や市営交通への理解を深めていただくため、小学生を対象に夏休み及び冬休み期間に、普段見ることができない市営交通関連施設の見学等を実施し、参加者には修了証等を贈呈した。

【夏休み：＜地下鉄を学ぼう＞】

開催日	平成 30 年 7 月 26 日 (木)、27 日 (金)、8 月 2 日 (木)、3 日 (金)
会場	西車両基地、教習所
参加者数	73 組 169 名 (応募者数：80 組 184 名)

【冬休み：＜電車を学ぼう＞】

開催日	平成 31 年 1 月 9 日 (水)、10 日 (木)
会場	電車事業所
参加人数	25 組 58 名 (応募者数：38 組 87 名)

(5) 業務用掲示板に関する事業 (19,070 円)

当公社や交通局が実施するイベント等を PR するため、東西線大通駅西側コンコースの掲示板に市電フェスティバル、市営交通子ども絵画展等のイベント情報を掲載したほか、イベントに出掛ける参考になるよう「タウン情報誌ウイズユー」「市営交通ご利用ガイド」及び「市電路線図」を備え付け、気軽にガイド類をお持ちいただけるようにした。

2 交通事業の利用者の便益増進に関する事業

(10,087,241円 : 事業費9,237,060円、管理費配賦額850,181円)

市営交通に対する多種多様なニーズに応え、利用者の便益を図るため、市営交通の利用ガイドのほか、情報誌等を発行した。

(1) タウン情報誌「ウィズユー」の発行 (5,597,352円)

市営交通の最新情報のほか、沿線の店舗等の紹介、イベント情報等を掲載したタウン情報誌「ウィズユー」を季節ごと年4回発行し、地下鉄各駅、市営交通関連施設、各区役所及び地区図書館等で配布した。

発行部数	100,000部 (季刊発行:各25,000部)
配布箇所	地下鉄各駅、市営交通関連施設、各区役所等、地区図書館、及び北海道さっぽろ観光案内所等 ※ 当公社ホームページからのダウンロードも可能。

(2) 「市営交通ご利用ガイド」の発行 (3,145,392円)

市営交通利用者の便益増進を図るため、市営交通の利用方法に加え、地下鉄主要駅の周辺地図、駅構内図及び観光スポット紹介ページなど掲載した冊子を発行した。

発行部数	120,000部
配布箇所	地下鉄各駅、市営交通関連施設、各区役所、北海道さっぽろ観光案内所及び商工会議所など ※ 当公社ホームページからダウンロード可能

(3) 「市電路線図」の発行 (329,076円)

市営交通利用者の便益増進を図るため、市電及び市電沿線の最新情報等を掲載した路線図を発行した。

発行部数	45,200部
配布箇所	市電車内、市営交通関連施設、各区役所、北海道さっぽろ観光案内所、商工会議所、市内ホテル23か所等 ※ 当公社ホームページからダウンロード可能

(4) 「駅周辺地図」の作成 (165,240円)

市営交通利用者の便益増進を図るため、利用者からの問い合わせ等に対応する駅周辺地図を作製した。

作成部数	18,000部
配布箇所	さっぽろ駅 (6,250枚) 大通駅 (6,250枚) すすきの・豊水すすきの駅 (3,750枚) 中島公園駅 (1,750枚)

3 交通事業の記念物及び資料の保存並びに公開に関する事業

(3,737,086円 : 事業費2,886,905円、管理費配賦額850,181円)

「交通資料館」に保存する市営交通発展の歴史を示す資料の管理を行うとともに、交通資料館の公開を通して、市営交通事業への理解と愛着を深めていただく。

交通事業記念物の保存及び管理 (2,886,905円)

ア 交通事業記念物の保存

休館中 (リニューアルオープン 2022年度以降予定)

イ 交通資料館の一般公開及び特別公開

交通資料館休館中においても、市営交通の歴史とその発展をより身近なものに感じていただき、市営交通への愛着を深める機会を提供するとともに、市営交通のPR及び利用促進を図ることを目的として、「交通資料館 in チカホ」を開催した。

開催日	平成30年7月21日(土)～22日(日)
来場者数	12,765名
イベント内容	交通資料館所蔵の市営交通資料の公開、鉄道模型運転鑑賞、ステージショー、こども制服撮影コーナー等

ウ 交通資料館一般公開周知用ポスター等の作成

少しでも多くのお客様に交通資料館の魅力を伝えるため、「交通資料館 in チカホ」開設周知を図るため作成した。

【その他会計】

実施事業等会計以外の事業に関する会計

I 受託事業

札幌市の委託を受け、市営交通事業に関する事業として次の事業を実施した。

1 定期券発売等に関する事業

(341,959,691円 : 事業費 310,698,001円、管理費配賦額 6,039,990円、消費税額 25,221,700円)

(1) 定期券等各種乗車券の発売等に関する事業 (264,769,736円)

定期券発売所(9か所)における通勤・通学定期券の発売、払戻及び書換業務、ICカード乗車券・一日乗車券等の各種乗車券の発売、払戻業務及び地震発生に伴う不通払戻業務を行った。

札幌市交通案内センターにおける市営交通を主とした公共交通機関の運賃、時刻、路線、乗り継ぎ方法及び各種イベント・市内観光施設への交通アクセス方法等の電話案内を行った。

[定期券発売所における発売実績]

概要	平成 29 年度	平成 30 年度	前年度対比
発売枚数 (うち SAPICA 定期券枚数)	446,875 枚 (376,751 枚)	436,430 枚 (378,993 枚)	△10,445 枚 (2,242 枚)
発売金額	6,205,370 千円	6,137,679 千円	△67,691 千円

[交通案内センターにおける対応実績]

概要	平成 29 年度	平成 30 年度	前年度対比
対応件数	47,068 件	40,139 件	△6,929 件

(2) 遺失物の管理及び遺失物等の取扱いに関する事業 (45,928,265円)

札幌市交通局忘れものセンターにおける遺失物の収納・保管・引渡し、遺失物管理システムへのデータ入力及び遺失物売却に関する業務を行った。また、中央警察署に対する遺失物及びデータの届け出、還付請求及び還付金の収納業務を行った。

[忘れものセンターにおける取扱い実績]

概要	平成 29 年度	平成 30 年度	前年度対比
拾得件数	95,094 件	92,853 件	△2,241 件
返還件数	31,977 件	31,301 件	△676 件

2 各種乗車券の販売促進等に関する事業

(61,302,272円 : 事業費 55,138,510円、管理費配賦額 1,700,362円
消費税額 4,463,400円)

(1) 乗車券等の作成及び管理に関する事業

乗継券、一日乗車券等の作成に関する業務を行った。また作成した乗車券の検収業務、札幌市交通局及びバス会社等への受払いに関する業務を行った。

[乗車券等の作成実績]

概要	平成 29 年度	平成 30 年度	前年度対比
作成枚数	1,025,626 枚	673,584 枚	△352,042 枚

(2) 乗車券等の発売に関する事業

交通局庁舎内において、乗車券の発売及びこれに係る料金の徴収・集計等に関する業務を行った。

3 広告業務等に関する事業

(52,306,663円 : 事業費 46,069,848円、管理費配賦額 2,242,815円
消費税額 3,994,000円)

(1) 広告業務に関する事業 (41,275,605円)

駅構内、車両（地下鉄・市電）及び関連施設に掲出する広告に関する業務を行った。

- ・ 広告の申込受付、掲出・撤去に係る作業指示及び各種申請手続きの補助
- ・ 広告媒体の保守管理、指定広告代理店との調整及び契約に係る補助
- ・ 広告料金等の積算、新規広告媒体及び広告の販売方法検討に関する代理店へのヒアリング、販売要領の補助資料提出、
- ・ 道路占用許可申請の資料作成、広告料収入の予算及び決算等に関する資料作成
- ・ 定例会議・他都市からの照会に係る補助
- ・ 広告物の広報に係る印刷物の作成
- ・ 広告受付管理システムへ資料のアップロード及びデジタルサイネージ広告の空き枠入力など

(2) 「ホリデー・テーリング」の実施 (2,797,016円)

子どもたちの自主的な学習活動の支援と公共交通機関の利用方法やマナー習得を目的として、実施期間中の土、日、祝日及び小学校の夏休み期間に札幌市内の公共施設等をまわるスタンプラリーを実施した。

実施期間	平成 30 年 7 月 14 日 (土) ~ 平成 30 年 10 月 28 日 (日)
スタンプポイント数	24 か所
参加者数	3,902 名
記念品交換のべ数	3,497 名

(3) 路面電車利用促進イベントの実施 (623,701 円)

ア 路面電車の日イベント (180,268 円)

「路面電車の日」を記念し、更なる路面電車の利用促進及びPRを図ることを目的に、札幌市内の幼稚園児を対象に、貸切電車を利用した交通マナー教室を実施した。また電車事業所において、普段体験することができない洗車体験（電車に乗りながら洗車機を通過する洗車作業を見学）や工場見学などを実施し、参加者には修了証等を贈呈した。

開催日	平成 30 年 6 月 8 日（金）
参加者数	2 園 70 名（園児 60 名、先生 10 名）

イ 市電沿線お買い物ものラリー (443,433 円)

市電に乗って、沿線の店舗、商店街を利用してもらうことで、市電沿線の地域活性化を図ることを目的に、市電沿線 41 店舗の協力のもと、各店舗で買い物をした参加者に対し、それぞれの店舗でスタンプを押印し、2 か所分のスタンプを集めた方に参加賞、4 個押印で抽選会に参加、景品を贈呈するスタンプラリーを実施した。

実施期間	平成 30 年 7 月 1 日（日）～平成 30 年 8 月 31 日（金）
参加者数	4,113 名
記念品応募者数	516 名（抽選会の参加者及び郵送応募者の数）

(4) 地下鉄利用促進イベントの実施

謎解きスタンプラリー2019の実施 (1,373,526 円)

地下鉄駅に隠された謎を解きながら、スタンプを集めるラリーを実施し、楽しみながら駅を巡ってもらうことで、地下鉄への愛着の醸成及び更なる利用促進を図ることを目的として実施した。

実施日時	平成 31 年 2 月 23 日（土）～24 日（日）
参加者	1,759 名（スタンプ台紙払出数）
参加賞	1,082 名（景品抽選参加者含む）

4 地下鉄駅（49駅）の業務に関する事業

(2,934,674,667円 : 事業費 2,669,453,065円、管理費配賦額 44,627,202円

消費税額 220,594,400円)

(1) 運行関係業務

列車の定時運行及びお客様の安全確保に努め、ホーム巡回及び整理、可動式ホーム柵の取り扱い、異常事態発生時の応急処置を行った。また、事故等発生時は、最も安全と思われる手段を講じ、付帯事故の防止、列車運転の早期再開を図った。

更には、火災訓練(駅構内・列車内)及び併結推進訓練など、事故発生を想定し、より実践的な訓練を行い、異常時における職員の知識及び判断力の向上に努めた。

(2) 駅舎管理業務

地下鉄駅コンコース、ホーム及び各居室とこれらに接続する駅出入口等におけるお客様の安全を確保するため、防災機器・設備の対応、駅構内点検及び駅構内秩序の維持、駅出入口の整理及び清掃を行った。

(3) 営業関係業務

お客様が快適にわかりやすく、安心して地下鉄を利用できるよう積極的な施設利用の案内や問い合わせへの対応を行い、身体に障がいのあるお客様などの介助を行うとともに、自動出改札装置の取り扱い、各種カード類の発売及び精算、乗車料金の収納及び遺失物の取り扱いを行った。また、業務を実施するうえで顧客満足度に対する考え方や接遇方法などを職員に理解させるため各種研修を実施した。

更に、地域の小・中学校等からの要請に応じ、駅舎施設の見学を実施して地下鉄利用マナーの啓発等を行った。(南北線 17回、東西線 30回、東豊線 29回 : 見学者数合計約 2,194名)

(4) 各種イベント等における対応

プロ野球及びサッカーの試合、よさこいソーラン祭り、北海道神宮例祭、豊平川花火大会、さっぽろ雪まつり、各種コンサートなどの開催に伴う関係駅で増員体制により対応を行い、列車の運行及びお客様の安全確保に努めた。

(5) 札幌市交通局が管理する乗継施設等に関する業務

次の駅に隣接するバスターミナル等の旅客、異常時対応及び待合室の開・施錠等を行った。

【南北線：麻生駅、北 34 条駅、北 24 条駅、平岸駅、南平岸駅、真駒内駅】

【東西線：発寒南駅、琴似駅、二十四軒駅、西 28 丁目駅、円山公園駅、白石駅、南郷 7 丁目駅】

【東豊線：新道東駅、環状通東駅、東区役所前駅】

II 収益事業

実施事業等会計の事業の財源確保のため行う事業として、次の事業を実施した。

1 自動販売機の運営に関する事業 (事業収入 44,935,170 円)

地下鉄駅ホーム及びコンコース並びにバス待合室（発寒南、新道東、環状通東）等に設置している自動販売機の管理運営を行った。設置台数及び収入額は次表のとおりである。

設置場所	平成 29 年度		平成 30 年度		前年度対比	
	台数	収入	台数	収入	台数	収入
駅ホーム	41 台	16,661 千円	41 台	16,676 千円	0 台	15 千円
駅コンコース	72 台	26,966 千円	72 台	27,388 千円	0 台	422 千円
バス待合室	5 台	854 千円	5 台	844 千円	0 台	△10 千円
東車両基地	1 台	36 千円	1 台	27 千円	0 台	△9 千円
札幌駐車場	0 台	0 千円	0 台	0 千円	0 台	0 千円
交通資料館	0 台	59 千円	0 台	0 千円	0 台	△59 千円
合 計	119 台	44,576 千円	119 台	44,935 千円	0 台	359 千円 101%

※ 台数は、各事業年度末日の設置数である。

2 コインロッカーの運営に関する事業 (事業収入 34,064,490 円)

地下鉄 49 駅に設置しているコインロッカーの管理運営を行った。設置台数及び収入額は次表のとおりです。

設置場所	平成 29 年度		平成 30 年度		前年度対比	
	台数	収入	台数	収入	台数	収入
南北線	125 台	22,924 千円	125 台	22,128 千円	0 台	△796 千円
東西線	131 台	8,380 千円	117 台	8,370 千円	△14 台	△10 千円
東豊線	56 台	3,656 千円	56 台	3,566 千円	0 台	△90 千円
合計	312 台	34,960 千円	298 台	34,064 千円	△14 台	△896 千円 97%

※ 台数は、各事業年度末日の設置数である。

3 パークアンドライド駐車場に関する事業 (事業収入 41,386,524 円)

札幌市交通局の未利用地を賃借して、パークアンドライド方式の駐車場 8 か所の管理運営を行った。台数及び収入額を次表のとおりです。

名 称	平成 29 年度		平成 30 年度		前年度対比	
	収容台数	収入	収容台数	収入	収容台数	収入
札幌麻生	41 台	4,762 千円	41 台	4,980 千円	0 台	218 千円
札幌南平岸	11 台	1,233 千円	11 台	1,403 千円	0 台	170 千円
札幌澄川	79 台	9,081 千円	79 台	9,499 千円	0 台	418 千円
札幌自衛隊前 (月極**台、時間貸**台)	47 台 月極 30 時間貸 17	9,107 千円	47 台 月極 30 時間貸 17	9,693 千円	0 台	586 千円
札幌自衛隊 パーク&ライド	38 台	4,136 千円	38 台	4,457 千円	0 台	321 千円
札幌宮の沢	92 台	5,935 千円	92 台	6,410 千円	0 台	475 千円
札幌二十四軒	26 台	2,838 千円	26 台	3,139 千円	0 台	301 千円
札幌北 13 条	14 台	1,557 千円	14 台	1,805 千円	0 台	248 千円
合 計	348 台	38,649 千円	348 台	41,386 千円	0 台	2,737 千円 107%

4 オリジナルグッズ・ミニチュアの販売に関する事業 (事業収入 4,863,810 円)

お客様に市営交通を PR し、親しみを深めていただくことを目的として、オリジナルグッズの販売を行った。収入額は次表のとおりです。

科目	平成 29 年度収入	平成 30 年度収入	前年度対比
オリジナルグッズ等	3,528 千円	4,863 千円	1,335 千円 138%

※ 平成 30 年度は、「ハシ鉄 (南北線・東西線)」や「電車型スプーン&フォークセット (東豊線)」等を新規発売した。

【法人会計】

法人の管理業務に関する会計

I 適切な事務の執行

業務執行にあたっての理事、監事からの意見聴取や理事会への執行状況の報告を行うことによって、さらなる事業の透明性の確保を図るとともに、関係法令及び定款の定めに基づいた法人運営を行い、公益目的支出計画についても着実に実施すべく、適切な執行管理を行った。

また、6月には法令に基づき、認可行政庁へ公益目的支出計画実施報告書の提出を行った。

II 更なるコンプライアンスの浸透と強化

5月に、コンプライアンス委員会を開催し、年間の取組みについて審議を行ったほか、年度内に3回、同委員会を開催し、コンプライアンスの啓発活動等について必要な審議を行った。

それらに基づき、新規採用職員や全職員を対象としたコンプライアンス研修を実施するとともに、効果的な啓発方法を検討するためにアンケート調査を行った。

なお、コンプライアンス意識を啓発するため、携帯用コンプライアンスカードを作成し、全職員に配布するなど、更なるコンプライアンスの浸透を図った。

III 当公社設立30周年関連事項

昭和63年11月1日の設立から30周年を迎えることを記念して、11月に、当公社の事業内容や魅力等を紹介するパンフレットを作成した。

【庶務事項】

I 理事会関係

開催	決議日又は報告日	議案	議決内容
第1回	平成30年4月1日	・代表理事の選定に関する件	可決
第2回	平成30年6月11日	・平成29年度事業報告に関する件 ・平成29年度決算に関する件 ・平成29年度公益目的支出計画実施報告書に関する件 ・札幌市への出資金返還の取り止めに関する件 ・第1回評議員会の招集に関する件 ・規程の改正に関する件	可決
		・平成29年度監査報告に関する件 ・職務の執行状況に関する件	報告
第3回	平成30年6月29日	・業務執行理事の選定に関する件	可決
第4回	平成30年11月19日	・軌道運送事業への参画に関する件 ・第2回評議員会の招集に関する件	可決
		・職務の執行状況に関する件 ・北海道胆振東部地震発生時の対応に関する件	報告
第5回	平成31年3月8日	・軌道運送高度化実施計画の変更申請に関する件 ・平成31年度事業計画に関する件 ・平成31年度収支予算に関する件 ・利益相反取引にあたる契約に関する件 ・規程及び規則の改正に関する件 ・第3回評議員会の招集に関する件	可決
		・職務の執行状況に関する件 ・元職員の訴訟に関する件	報告
第6回	平成31年3月26日	・重要な職員の任免に関する件	可決

II 評議員会関係

開催	決議日又は報告日	議案	議決内容
第1回	平成30年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度決算に関する件 理事及び監事の選任に関する件 	可決
		<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告に関する件 平成29年度公益目的支出計画実施報告書に関する件 規程の改正に関する件 	報告
第2回	平成30年11月26日	<ul style="list-style-type: none"> 軌道運送事業への参画に関する件 	可決
		<ul style="list-style-type: none"> 北海道胆振東部地震発生時の対応に関する件 	報告
第3回	平成31年3月28日	<ul style="list-style-type: none"> 定款の変更に関する件 平成31年度事業計画に関する件 平成31年度収支予算に関する件 	可決
		<ul style="list-style-type: none"> 規程の改正に関する件 元職員の訴訟に関する件 	報告

III 認可行政庁に関する事項

届出年月日	件名
平成30年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> 公益目的支出計画実施報告書の提出

IV 登記に関する事項

登記年月日	申請先	件名
平成30年4月12日	札幌法務局	<ul style="list-style-type: none"> 代表理事、理事の辞任及び就任に係る登記
平成30年7月12日	札幌法務局	<ul style="list-style-type: none"> 理事の就任と退任及び重任、監事の重任

V 役員に関する事項

(1) 平成 30 年 4 月 1 日 役員就任

役職者名	氏 名
代表理事及び理事	藤井 透

(2) 平成 30 年 6 月 29 日 役員就任及び重任

ア 役員就任

役職者名	氏 名
理事	村上 多聞

イ 任期満了に伴う役員重任

役職者名	氏 名
監事	籾本 道男 田中 宏
業務執行理事	田畑 祐司
理事	福井 知克 奥谷 直子

(3) 平成 30 年 6 月 29 日 任期満了に伴う役員退任

役職者名	氏 名
理事	森山 正徳

【附属明細書】

平成 30 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成 19 年法務省令第 28 号）第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項がないため、附属明細書は作成しない。